

2025 年度第 1 回ユマニテクプラザ 5 者連携セミナー

『今こそ産業競争力を高めよう ー先進事例も有効に活用してー』

会場：ユマニテクプラザ 3F 研修室 300

2025年9月30日（火） 14：00～17：00

基調講演

14:10 ～ 15:25

「産業競争力の前提となるマクロ環境の現状と見通し」

（学法）梅村学園常任理事 中京大学経済学部客員教授

内田 俊宏 氏

トランプ米政権との関税交渉が合意に至り、大統領令により日本への自動車関税が 15%に引き下げられる。すでに発動されていた税率より引き下げられたものの、日本から米国に輸出する際の関税はバイデン政権下より負担増となる。こうした中、国内では新米価格の高止まりなど消費者物価の上昇が続き、実質賃金のプラス維持が実現していない。先行き不透明感が漂う中で、日米の金融政策も含めた今後のマクロ経済環境の見通しについて分析する。

講演①

15:40 ～ 16:25

「川崎 100 年の変貌～産業まちづくりの視点から～」

前川崎市副市長 前（公財）川崎市産業振興財団理事長

三浦 淳 氏

昨年、川崎市は、市制 100 周年を迎えました。政令指定都市になった 1972 年には人口は約 98 万人でしたが、現在は約 155 万人と増加し、政令指定都市の中で 6 番目に人口の多い都市として発展を続けています。この川崎市の 100 年にわたる歩みを振り返り、産業まちづくりの視点から、時代の変化に適応しながら産業構造転換を遂げてきた軌跡を紹介します。

講演②

16:30 ～ 17:00

「GX 産業の集積に向けた取組について」

三重県雇用経済部新産業振興課長

江藤 浩太 氏

エネルギー安定供給、経済成長、脱炭素の同時実現をめざした GX（グリーン・トランスフォーメーション）の推進が進む中、産業構造の転換が求められています。四日市コンビナートにおけるカーボンニュートラル化の取組など三重県の取組を紹介しつつ、GX 推進に向けた産業集積について、皆様と共に考えたいと思います。

主催：三重大学 東京大学 三重県 三重県産業支援センター みえ大橋学園

Humanitec Plaza

〒510-0074 三重県四日市市鵜の森 1-4-28
TEL 059-359-4877 <https://www.humanitec-plaza.jp>